

お知らせ

記者発表資料

令和4年11月22日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

南海トラフ巨大地震発生を想定した中国管内初の 総合啓開連携訓練を開催

～関係機関の連携や情報収集・提供の手順を確認します～

南海トラフ巨大地震は、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の地震から70年以上経過した現在では、次の南海トラフ巨大地震の切迫性が高まってきており、中国地方においても大きな被害の発生が予想されます。

このような大規模な自然災害に対する備えとして、今回、中国地方の防災関係機関が多数参加し、南海トラフ巨大地震を想定した災害時における各機関の連携や情報収集・提供の手順を確認し、関係機関の連携協力の強化を図ることを目的に総合啓開連携訓練を開催します。

【開催日時】

令和4年11月29日（火）13：30～16：30（予定）

【開催場所】

広島YMCA国際文化センター 2号館 地下1階 コンベンションホール
（広島市中区八丁堀7-11）

【訓練内容】

南海トラフ巨大地震による地震・津波を想定し、瀬戸内海側の「広島港一帯」を訓練対象地域として、災害時における各機関の連携や情報収集・提供の手順を図上訓練にて確認します。また、訓練を通じて関係機関で共有を図った内容を今後の災害対応に活用します。（詳細な訓練内容は、別紙①「連携訓練の内容」のとおり）

【参加機関】

中国地方の防災に関する連絡会【構成機関53機関】（詳細は別紙②「中国地方の防災に関する連絡会の概要」のとおり）

<問い合わせ先>

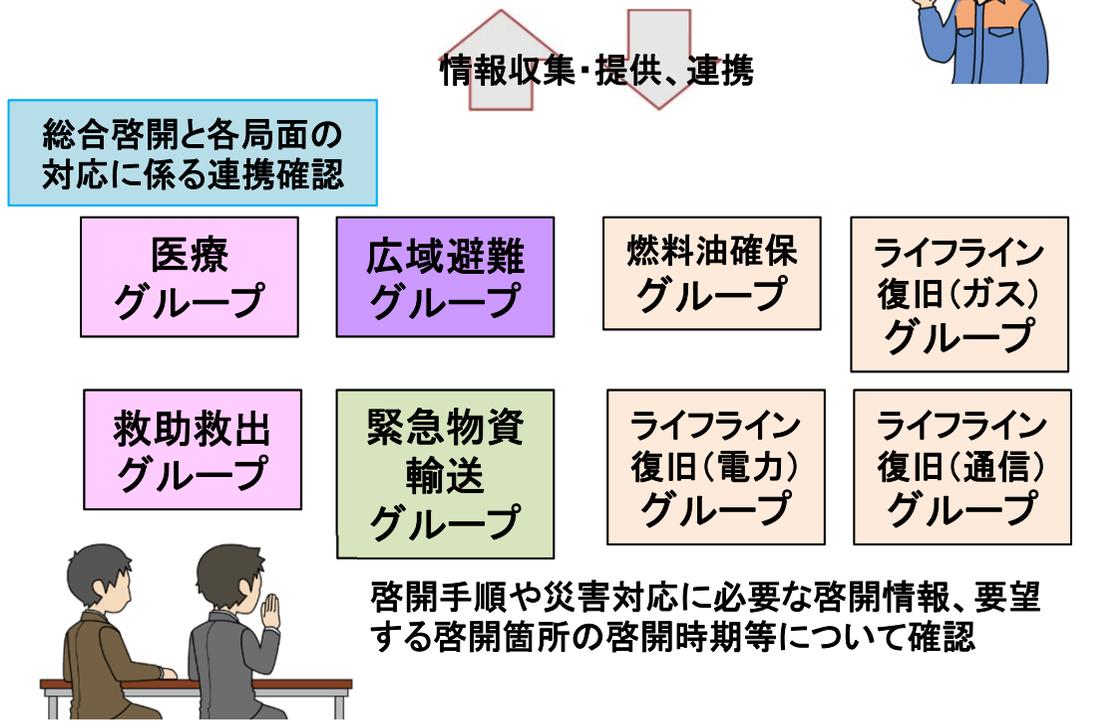
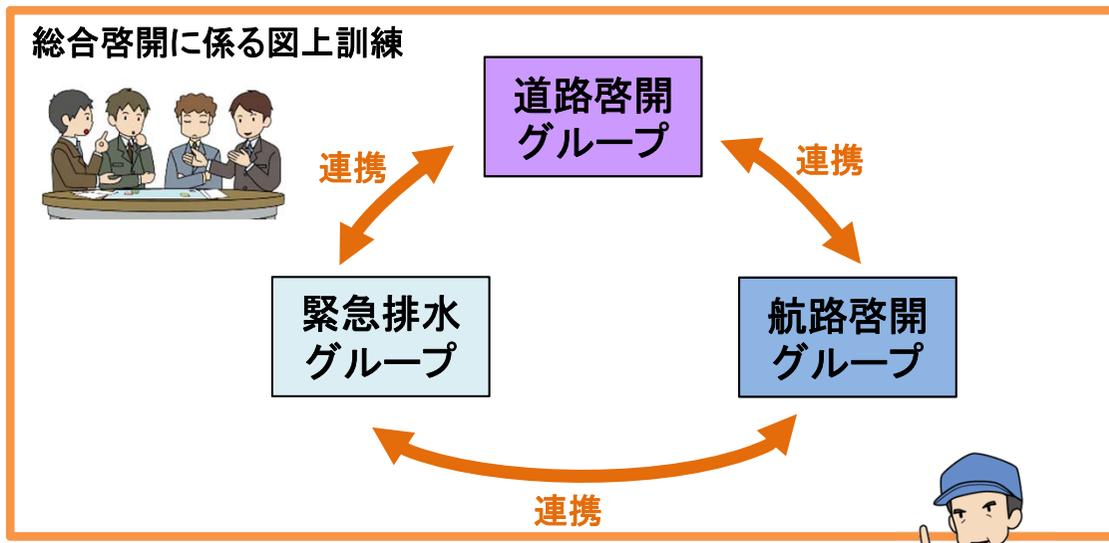
国土交通省 中国地方整備局 統括防災官室 災害対策マネジメント室
082-221-9231（代表）

【担当】

総括防災調整官 加田厚（内線2119）
災害対策マネジメント室長 にし西 おか岡 ひさ寿 お雄（内線2181）

南海トラフ巨大地震を想定した、災害時における各機関の連携や情報収集・提供の手順を図上訓練にて確認。

- ①総合啓開に係る図上訓練(緊急排水・道路啓開・航路啓開の具体的な啓開ルート、啓開手順等の確認)
 - ②各局面(医療、救助救出、広域避難、緊急物資輸送、燃料油確保、ライフライン復旧(電力、ガス、通信))の代表機関からの質疑応答(災害対応に必要な啓開情報、啓開箇所の啓開時期等、連携が必要な事項について確認)
- ※4つの訓練ステップごとに①②を繰り返し実施
- ・訓練ステップ①:発災直後から津波最大波到達時まで
 - ・訓練ステップ②:津波最大波到達後から津波警報解除(発災9時間後)まで
 - ・訓練ステップ③:津波警報解除後から総合啓開完了(発災72時間後)まで
 - ・訓練ステップ④:総合啓開完了後

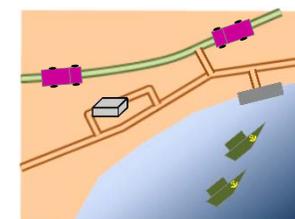
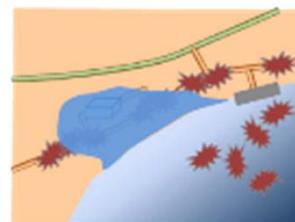
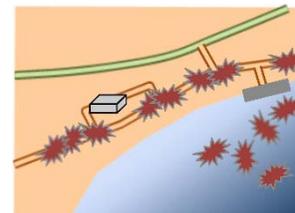
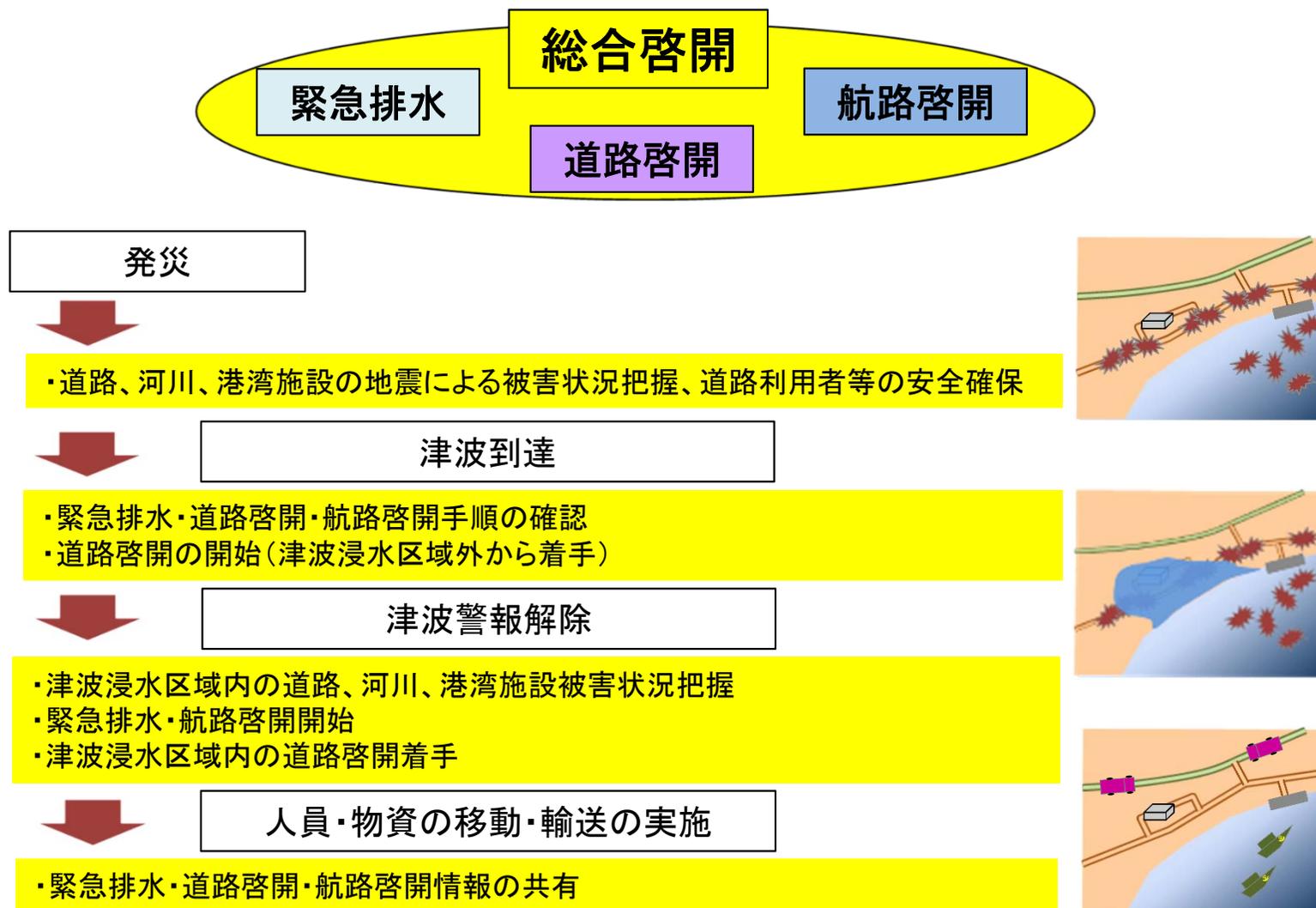


▲訓練イメージ

連携訓練の内容 総合啓開

南海トラフを震源とする地震が発生した際、被災者の救命・救助を行う自衛隊や消防、警察等の一刻も早い被災地への進出・展開の支援、広域的な物資輸送に向けて、各施設の状況や管内の被災状況等の集約・整理、緊急輸送ルートを検討・確保する必要がある。

そのため、関係機関と連携しつつ、道路、港湾、航路、空港を総合的に活用した緊急輸送ルートを確認するための総合的な啓開(総合啓開)を行い、被災地域の早期復旧を目指します。



連携訓練の内容 当日スケジュール

| 時間 | 項目 | 内容 |
|--------------------------|--|--|
| 13:30～ 13:35 (5分) | 開会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 開会あいさつ |
| 13:35～ 13:50 (15分) | 総合啓開(緊急排水、道路啓開、航路啓開)活動の概要説明 | <ul style="list-style-type: none"> ● 訓練の説明 ● 総合啓開(緊急排水、道路啓開、航路啓開)の考え方についての解説 |
| 13:50～ 13:55 (5分) | 訓練の進め方説明 | <ul style="list-style-type: none"> ● 訓練の進め方説明 |
| 13:55～ 14:00 (5分) | 被害事象、想定される被害状況の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ● 被害事象、想定される被害状況の確認 |
| 14:00～ 15:15 (75分) | 啓開活動に係る図上訓練 【地震発生・津波警報発表】 ・訓練ステップ①:被災状況把握 ・訓練ステップ②:緊急排水、道路啓開、航路啓開 | <ul style="list-style-type: none"> ● 道路、河川、港湾施設の地震による被災状況把握、安全確保 ● 緊急排水・道路啓開・航路啓開手順の確認 ● 道路啓開の開始(津波浸水区域外から着手) |
| 15:15～ 15:25 (10分) | 休憩 | <ul style="list-style-type: none"> ● 休憩 |
| 15:25～ 16:25 (60分) | 【津波警報解除後】 ・訓練ステップ③:緊急排水、道路啓開、航路啓開 ・訓練ステップ④:啓開完了、緊急輸送 | <ul style="list-style-type: none"> ● 津波浸水区域内の道路、河川、港湾施設被害状況把握 ● 緊急排水・航路啓開開始 ● 津波浸水区域内の道路啓開着手 ● 緊急排水・道路啓開・航路啓開情報の共有 |
| 16:25～ 16:30 (5分) | 講評・閉会・事務連絡 | <ul style="list-style-type: none"> ● 講評 ● 閉会あいさつ ● 今後の中防連の開催予定 |

○東日本大震災を契機に、平成24年3月、防災業務に係わる49機関（国、自治体、交通事業者、通信事業者・電力・エネルギー事業者等）により、「広域かつ大規模な災害発生時に、関係防災機関による連携した災害対策を効果的に実施できるよう、平常時から各機関の情報共有及び施策の連携・調整を行うことにより、国民の生命、身体及び財産の保護に資すること」を目的に「中国地方の防災に関する連絡会」を設置。（令和4年2月時点：構成機関は53機関）

<国の機関>

警察庁 中国四国管区警察局
総務省 中国総合通信局
厚生労働省 中国四国厚生局
農林水産省 中国四国農政局
経済産業省 中国経済産業局
中国四国産業保安監督部
国土交通省 中国地方整備局
中国運輸局
大阪航空局
国土地理院 中国地方測量部

気象庁 広島地方気象台
福岡管区気象台
海上保安庁 第六管区海上保安本部
第七管区海上保安本部
第八管区海上保安本部
環境省 中国四国地方環境事務所
防衛省 中国四国防衛局
自衛隊 広島地方協力本部
陸上自衛隊第十三旅団
海上自衛隊呉地方総監部

<公共機関>

<運輸>西日本高速道路株式会社 中国支社
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター
広島県道路公社
広島高速道路公社
<電力>中国電力株式会社
Jパワージェネレーションサービス株式会社
竹原火力運営事業所
<ガス>一般社団法人日本ガス協会 中国・四国部会
一般社団法人日本コミュニティーガス協会 中国支部
中国地区LPガス協会連合会
<通信>西日本電信電話株式会社 中国支社
株式会社NTTドコモ 中国支社
KDDI株式会社 技術統括本部
ソフトバンク株式会社
楽天モバイル株式会社

<運輸>西日本旅客鉄道株式会社
日本貨物鉄道株式会社 関西支社
中国地方鉄道協会
中国バス協会
中国ハイヤー・タクシー連合会
中国トラック協会
一般社団法人 中国旅客船協会
中国地方海運組合連合会
中国地方港運協会
中国地方倉庫協会連合会
<石油>全国石油商業組合連合会 中国支部
<都市・住宅>独立行政法人都市再生機構

<地方公共団体>

鳥取県 危機管理局 県土整備部
島根県 防災部 土木部
岡山県 知事直轄 土木部
広島県 危機管理監 土木建築局

山口県 総務部 土木建築部
広島市 危機管理室 道路交通局
岡山市 危機管理室 都市整備局 下水道河川局

中国地方の防災に関する連絡会

○情報提供及び防災対策に関する意見交換
○訓練実施の情報共有と相互参加

○災害の未然防止、被害の拡大防止、復旧に向けた連携方策
・緊急輸送に関すること
・大規模災害対策計画に関すること
・連携訓練に関すること

緊急輸送 専門部会

○緊急物資輸送の課題検討
○旅客輸送・帰宅困難者対策の課題検討

南海トラフ巨大地震 対策計画 専門部会

○南海トラフ巨大地震発生時における応急活動計画
○南海トラフ巨大地震の発生に備え戦略的に推進する対策

連携訓練 専門部会

○災害時における各機関の情報伝達、連携強化のための訓練検討
○道路啓開、航路啓開のオペレーション計画の検証等のための訓練

平成30年7月豪雨 課題検討 専門部会

○平成30年7月豪雨の課題検討
【令和2年2月 閉会】